

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5年 1月 26日

公表:令和 5年 1月 27日

事業所名 チャイルドハート東海基目寺(第一単位)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	1		その日の児童の人数によっては狭い為、コミュニティセンターなど利用スペース確保を行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	3			シフト提出期限を早めに設定し利用児童の人数に合わせて基準を上回りがつゆりがあるように心がけている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1		2	トイレや出入り口に段差があり、出入り口については座れる収納BOXを置き物の脱ぎ履きを座ってできるように配慮している。	今後も利用者のニーズに合わせて随時対応していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3			月一度、各種会議を3つ以上開催している。週初めの業務共有会議開催。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	1		児童クラブや障害の無い子どもとの交流や保護者会等の開催を希望される方がいらつしやるが、コロナの影響で出来ていない。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1		2		第三者機関の情報収集や依頼方法など知り検討していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3			月1度の管理者研修、発達プログラミング研修等の機会がある。所内では事例検討を兼ねて資質向上へとつなげている	法人研修の定期開催を目標にしている。現在は時期開催。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3			保護者との面談の他に日々の支援記録やスタッフ間の情報共有を事例検討会等を設けて、充実させ、計画に反映している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			事業所専用のツールをしようしている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3			支援会議・イベント会議等、チームで話し合う機会を設けている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	1		児童の発達段階や年齢を考慮しての立案を心がけている。	個別の分析がスムーズに出来ることで、活動プログラムの変化につなげられることを目指している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	1		平日・休日・長期休暇で課題や目標を設定して支援している。	文章化や可視化をしたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3			支援時間内に個別活動と集団活動を取り入れており、個別の計画に対応できるようにしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3			当日の支援についての活動内容・前日までの情報共有を支援ミーティングで行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3				支援終了後は送迎・記録に時間を要するため、ケア記録にて情報を共有し、特に重要な点は翌日以降の開始前ミーティングやスタッフ連絡網を活用して共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			記録は確認作業を入れており、印刷保管することで、スタッフが読み返せるようにしている。各種会議の際にも記録を用いるようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3			モニタリングの際には事例検討を行い、スタッフ参加型で見直しの検討を行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3			来所後のルーティンや施設使用のルール等、個々の現在の状況に合わせた、自立を促す工夫をし、日常生活のスキルに繋がるようにしている。休日・長期休暇の支援に創作活動を組み入れたり、お出かけで公共施設を利用したり、他者がいる場での活動の経験も大切にしている。余暇は児童の意見も取り入れ、心惹きつけるイベントの企画を心がけている。	地域交流には課題があり、周辺の児童館等との交流は検討・模索が必要と感じている。他地域の成功事例等を用いてみることも検討したい。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			児童発達支援管理責任者の資格を持つものが、互いに情報の共有を行った上で参画するように努めている		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3			下校時間の調整については事前に担任の先生と相談を行い調整を行っている。また急なトラブル発生により、送迎時間に遅れなどが生じる場合は、ドライバーから直接学校へ連絡を行い、詳細説明を行っている		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3			現状対象児童がいない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		1	2			小学校入学にあたる環境の変化も鑑み、新生活へのスムーズな移行の為にも行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1				今までほとんどケースが無いが、併設されたウツシュ菫目寺に将来的に移行する際には情報共有や変化の経過などシェアしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2				無回答1	障害福祉課を通して研修のお知らせ頂く事もある。スケジュール的に参加できない事もあるが、今後は能動的に開催状況を確認し、必要に応じて応募し参加していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2			公園やイベント先でその地域の子供たちと遊ぶ事はあるが、コロナもあり企画してまでは無い。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1			知識による行動の変化が成果に繋がると考える為、出来る限り参加しています。また、学んだことを実践に生かしている為、所々に全体にアウトプットするよう掛けています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3				送迎の際など本日の出来事を振り返り替えてお伝えする事やご自宅での様子など伺い、支援方針と内容の合致を図っている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		2	1		事業所としての講座開催は無いが、本部の保護者様向け講座の案内を行っている	送迎の際やお電話、事業所内相談など行っているが、適宜講座の共有なども行っていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3				見学の際に、資料を基に感覚、動き、原始反射についての説明や支援中の体の見立て方を中心にお話し、それに伴う支援の方法について細かく説明させていただいています。	運営規定は手に取って頂けるよう設置してあるが、保護者様の目に留まりにくい場所にあるため、設置場所について配慮していかなければならない。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3				送迎の際や電話による相談、事業所内相談などを通し、保護者様が相談しやすい環境づくりを心掛けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	2		コロナの為現在は行えていない。	コロナ禍の為悩みや考えを相談できる場が少なくなっている事もあり、状況が好転した際には前向きに開催していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3				苦情の連絡があった際は、出来る限りその日のうちに直接自宅に伺い顔を合わせてお話をさせていただきようとしている。	言語表現力の未熟さ故に児童から保護者様に伝わった話が事実とは相違しており苦情として頂く案件や、児童から報告を受ける事と保護者様の思いに相違があったりという事で、何度か苦情として頂いた。該当する児童においては、出来る限りこちらから先に説明させていただき、相違が生じないよう出来るだけ対応していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3				月初ごとにつしんを作成し、保護者様に送信している。また、SNSを用いた活動も行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	3				写真の取り扱いや送迎に関わる事項など、ご家庭ごとに合わせた対応を行っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3				イベントにおける持ち物などチェックリストの作成を行い、視覚化する事で伝達するように心掛けています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	2		コロナの為現在は行えていない。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3				緊急時対応マニュアルや感染症対応マニュアルについては、年度初めに毎年保護者様に配布し周知を行っている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3				年に大きく2回に分けて防災訓練を開催する他、例えば台風の時節など季節や時勢に応じて随時での児童への周知を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3				担当者が外部の虐待防止研修を受講し、事業所内での内容の周知と支援における徹底に努めている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3				その他、もし実行しなくてはならなくなった際には必ず保護者様に共有している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1			イベントやお誕生日会など食物の提供がある際には事前に食材を確認し、企画自体への反映や、状況に合わせて個別での対応を行っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3				また、ミーティングの際の振り返り、反省会なども通し職員間での事例共有も行っている。	

事業所名 チャイルドハート東海基目寺(第二単位)

記入年月日:令和5年1月26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	4	身体活動時は屋外の施設を利用し、十分な活動ができるようになっている。また、雨天時は室内にて時間を決め半数に分かれて活動を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	2	対象児童の状態により適切な人数を配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	肢体不自由な児童が利用されている為手洗い場などの段差を低くしたり工夫しているがトイレの際には男性指導員が介助している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		月2回の全体会議や毎日の支援前のミーティング等を通して支援の振り返り、予定の打ち合わせを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	2	アンケート調査を行うのが初年度の為、まだ、話し合う時間が取れていない為今後、保護者の意見を参考に会議を通して改善策を取っていきたいと思う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	2	アンケート調査を行ったのが初年度の為、今回の結果を踏まえてこれからどのようにしていくなどを今後会報やホームページ等に公開していく予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	外部評価については行っていない為、今後取り入れていく事を検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		愛知県内の療育の研修に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		毎回の個別支援計画作成時期に、保護者の方や本人からニーズや困り感、課題などを聞き取りを行い、それらをアセスメントから職員で個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用	1	1	現在標準化されたアセスメントツール導入を検討中
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		全体会議や支援会議イベント会議などを何度か会議をするようにして3か月前にイベント等の活動や支援の計画を立てている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		子ども達に行いたいイベント案を出してもらい運動、SST、調理、制作等に活動を分けて、計画時に偏りなくいろんな事を経験できるように行い、子ども達の成長に繋がるように考えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4		個別支援計画に基づきそれぞれの期間に応じた課題やできていることを指導員内で抽出の検討会を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3		高学年事業所として、個別の課題にも取り組んでいるが、社会性を入れる活動においては集団での取り組みを重視した計画も入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		指導員が出社後、全員で話す機会を用意して支援内容や支援の注意点を確認を行っている。参加できない指導員には書面で確認してもらう。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		その日に何が起きた、この問題に対してはどのように対応をした等、困った部分などを指導員間で情報共有している。また、参加できない指導員にはノートを通して情報を共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1	支援記録を記入するシステムを導入しており、毎日の記録を記入後職員全員に共有し、日々の支援前の打ち合わせ時に検証、改善を行っている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2		前計画立案より6か月以内にモニタリング、ご家族からのアセスメントも併せて行い計画の見直しを行っている。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2		日常活動に自立を促す工夫を個々の特性に合わせて行いスモールステップで自分で出来ることを増やしていき、出来た時には承認と賞賛をしている。支援の中に工作や作成作業を取り入れている。地域の広場等地域の方との交流を図れるよう活用している。土曜日等学級日に児童の提案するイベント等で余暇を取り入れている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2		児童発達管理責任者や直接支援に関わる児童指導員が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5		児童、保護者を通じて学校の情報は頂いている。事業所側からの情報は行っていない事から、今後外部向けの情報通信の作成も検討していく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			現在受け入れ児童なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		1	高学年事業所といった形態であることから、保育園、幼稚園などの情報共有はしていない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	1	現在までに移行児童がいないが、今後移行がある時は情報の共有をしていく予定である
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	1	研修に参加し、事業所内の職員に共有しているが、困難事例などについて今後助言を求めているようにしていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1	支援時間に地域の公園などに行き交流する機会がある
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		1	法人内全体での参加をしている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		連絡ノートや自宅への送迎時、ご家庭からの連絡などに用いるSNSなどを利用しお子様の様子をお伝えしている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	現在コロナ禍において研修などは開催できていないが、保護者からの相談において個別に対応している
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2		契約時に内容に変更があった時に送迎時、連絡帳などを通して支援内容をお伝えしている。保護者への説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3		事業所内相談や、ケース会議などを行っている。面談や電話等により行わせていただいている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	現在コロナ禍により見合わせている。今後保護者同士が連携できるような機会を作っていく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3		体制の整備は出来ており、苦情については迅速に対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		月に1度の事業所通信を発行し、子供達の事業所での様子や次月のイベントの内容などを載せ家庭に配布している
	35	個人情報に十分注意しているか	5		職員の意識を徹底し取り組んでいる
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		特性に応じ有用な方法を用い情報の提供を行っている

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	コロナ禍であり行ってはいないが、今後計画をしていく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4		年度始まりに各家庭に配布をし周知している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1	非常災害対策計画に基づき、災害の種類に分けて年2回の訓練を行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	1	法人からの研修に参加しているが、所内の研修についてはまだ実施に至っていない早急に研修を行い職員に周知していく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2		現在、該当児童はいないがケースの発生には対応する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2		保護者方のアレルギーに対する聞き取りを行い活動時にアレルギーを摂取しないように指導員の情報共有をしている。医療機関からの必要な指示書は提出はない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	ヒヤリハットはその都度作成しており、支援前のミーティングなどで情報を共有し、改善策も話し合っている